

発言通告書（質問）

次のとおり、（1. 一般質問）2. 施政方針に対する質問 3. 緊急質問）の通告をいたします。

平成 24年 2月 日

富士市議会議長様

富士市議会議員 小池智明 印

受付 No.
平成 年 月 日
午(前・後) 時 分
受理者

(小池智明議員 2- 1)

発言項目	「都市鉱山」の適切な発掘に向けた小型家電リサイクルの取組みについて	
	要 旨 （具体的に記入してください）	答弁を求める者
	<p>資源循環型社会への移行を目指し、3Rの考え方に基づくさまざまな動きが加速している。</p> <p>家電製品については、テレビ、エアコン、冷蔵・冷凍庫、洗濯・乾燥機、パソコンなどは、制度として消費者がリサイクル料を支払う仕組みでリサイクルが義務付けられている。</p> <p>一方、携帯電話やデジタルカメラ、DVDプレーヤーなどの小型家電には、金・銀やレアメタル（希少金属）などの有用金属を含むものが多く、「都市鉱山」と例えられるにもかかわらず、しっかりしたリサイクル制度が確立されていない。</p> <p>中国からのレアメタル輸出規制などが行われる中で、多くの自治体では埋立てゴミとして回収後、破碎され、そのまま埋立て処理されている。</p> <p>また、東南アジアを中心とする海外に輸出され、劣悪な環境下で有用金属を取り出すことによる健康被害や、残渣物の不法投棄による環境への影響が懸念されるなどの課題も指摘されている。</p> <p>このように有用金属の資源確保、廃棄物の減量対策、有害物質の環境管理対策などの面から、小型家電のリサイクルは重要性を高めていると考える中で以下の質問を行う。</p> <ol style="list-style-type: none">現在の富士市の小型家電リサイクルの現状（回収ルート、回収量、処分・活用方法）と課題についてどのように把握しているか国、県、他の自治体における取組み動向についてどのように把握しているか今後の富士市の取組みをどのように考えるか<ol style="list-style-type: none">富士市のリサイクルへの取組み民間回収業者への指導	市長及び 担当部長

発言項目	富士市の中核総合病院である中央病院のチーム医療などのあり方について	
	要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者
	<p>より質が高く、安心・安全な医療を求める患者・家族の声が高まる一方で、医療の高度化・複雑化に伴う業務の増大により医療現場の疲弊が指摘されるなど、医療のあり方が根本的に問われる今日、改めて「チーム医療」が注目されている。</p> <p>チーム医療とは、従来の医師を頂点としたピラミッド型体制でなく、医療に従事する多種多様な医療スタッフが、それぞれの高い専門性を前提に目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完しあい、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム体制といわれる。</p> <p>中央病院では、毎年、その年度の病院指針を定め取組んでいるが、平成15、16年度は「納得のいくチーム医療を!」、19年度は「チーム医療 患者さんはチームの一員」、21年度は「電子カルテから始まるチーム医療“患者さんもチームの一員”」と、早い段階からチーム医療への取組みを進めてきている。</p> <p>特に電子カルテとの関連では、「電子カルテの端末から、どの職種でも、職種を超えたチーム医療の基礎となるような情報がいつでもどこでも見ることができることにより、チーム医療という形の中で医療の質の向上、より安全な医療の提供ができる」とされてきた。</p> <p>電子カルテの導入から3年が経過し、今後より市民に信頼される中央病院を目指す上でのキーワードとなるであろうチーム医療のあり方などについて以下の質問を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中央病院におけるチーム医療の基本的な考え方はいかがか 2 電子カルテ導入によるチーム医療への効果・成果はどう把握しているか、また今後のチーム医療の取組み方、進め方をどう考えるか 3 患者の権利であるセカンドオピニオンへのこれまでの取組み実績はいかがか、また今後の取組み方をどう考えるか 	<p>市長及び 病院長、担当 部長</p>